

# 校内研だより



令和4年11月8日(火)  
研究推進部  
No.19

## 1 第7回校内研究会（研究授業⑤）

(1) 日時 11月15日(火) 13:35~16:00

(2) 研究会場 MR

(3) 単元名 社会科「玉川兄弟と玉川上水の開発」

(4) 当日の進行

13:35 研究授業 MR 授業者 小場 俊夫 教諭

授業記録（全体） : (分科会)

授業記録（抽出児） : (分科会)、(分科会)

カメラ記録 : 松本

14:40 研究協議会 司会: 志村 協議会記録: (分科会)

- ・挨拶、講師紹介: 校長
- ・分科会提案: 荒井
- ・自評: 小場
- ・協議

ジャムボードを使いながら、それぞれに出た視点ごとに協議をお願いします。

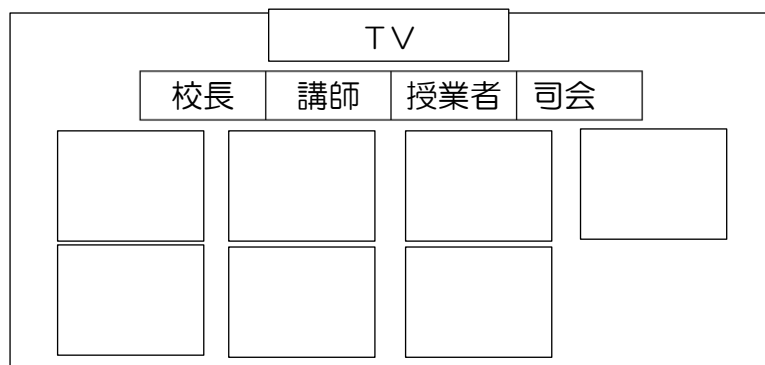
良かった点、課題・改善点、疑問点、質問など

15:20 指導講評

講師 櫻井 眞治先生 (東京学芸大学次世代教育研究センター教授)

16:00 謝辞: 副校長

(5) 会場図 (MR) ※協議会は、児童の机で行う。



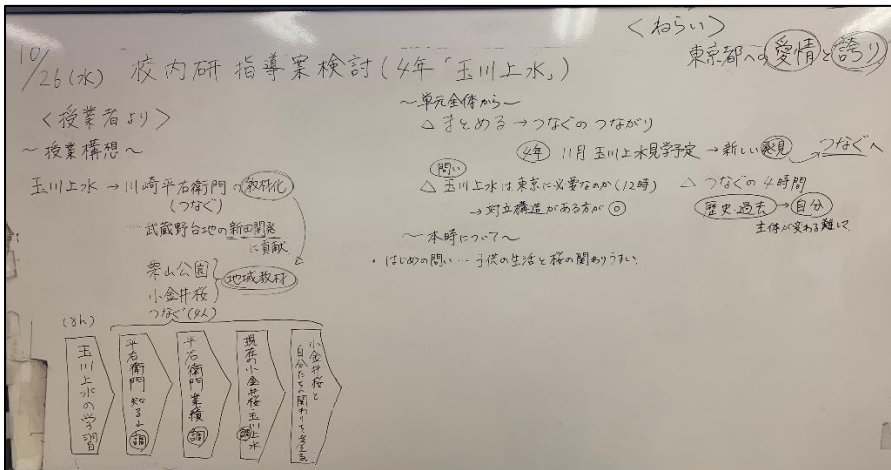
当日、席替えします。  
お楽しみに！

(6) 参観の視点

- ・玉川兄弟、川崎平右衛門の学びを生かして話し合うことができていたか。
- ・本時の問いは適切であったか。
- ・来年度に向けてどうするとよいか。

☆川崎平右衛門を手掛かりに、地域に対する誇りや愛情をもてるか！？チャレンジです！

(7) 事前検討会 (10月26日・水)



外部からも、ご参会いただきました。地域を知って「ふーん。」で終わらず、今や未来を考えられるように、よりよい形を目指していきましょう。当日も、よろしくお願いします。

2 その他

☆実践が終わった学年から研究紀要の作成をお願いします。

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆11日(金) 都小社研プレ大会(新宿区立四谷小学校) 研究だより⑩

☆15日(火) 校内研究会⑦(研究授業⑤4年生) 研究だより⑨

☆30日(金) 校内研究会⑧(研究授業⑥1年生) 研究だより⑧

日時：令和4年11月15日（火）

(5校時 13:35～14:20)

対象 4年3組 35名

授業者 小場 俊夫

場所：アリーナ2階 ミーティングルーム

## 1 小単元名 「玉川兄弟と玉川上水の開発」（全12時間）

## 2 小単元の目標

玉川上水の開発に尽くした玉川兄弟や武蔵野台地の新田開発に携わった川崎平右衛門の業績について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、開削工事の様子を捉え、当時の生活の向上や地域の発展と関連付けて玉川兄弟の働きを考え、表現することを通して、玉川兄弟は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上や地域の発展に貢献したことを理解できるようにするとともに、小金井桜の保存などの現在の玉川上水の姿について、主体的に学習問題を追究・解決し、先人の働きと現代の地域の人々の生活を関連付け、地域に誇りと愛情をもち、地域社会の発展について考えようとする態度を養う。

## 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした玉川兄弟や川崎平右衛門らの働きを理解している。 ② 調べたことを思考ツール、文などにまとめ、玉川兄弟や川崎平右衛門らは、様々な苦心や努力により当時の江戸の人々の生活の向上に貢献したことを理解している。	① 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見出し、玉川上水の開発や武蔵野台地の新田開発について考え、文章などで適切に表現したり、根拠を示して話し合ったりしている。 ② 玉川兄弟や川崎平右衛門らの業績と、地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて先人の働きや願いを考え、適切に表現している。	① 地域の発展に尽くした玉川兄弟らの働きについて、予想を基に学習計画を立て、問題解決の見通しをもち、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ② 玉川兄弟や川崎平右衛門の働きと、玉川上水のその後の様子などを基に、現代の地域の人々の生活と関連付け、これからの地域社会の発展について考えようとしている。

## 4 目指す子供像

本実践では、玉川上水と小金井桜を取り上げる。「つかむ」段階では、小金井桜から学習をスタートし、その側を流れる玉川上水に目を向け学習を展開していく。また、「つなぐ」段階では、小金井桜が江戸時代、観光名所だったことから、植えられた理由や川崎平右衛門の業績に迫る。さらに、現在の名勝小金井桜の復活のための取組を調べることで、その意味を考えたり、他の地域と比較して保存について話し合ったりしていく。このように学習を進めることで、玉川上水を作った玉川兄弟や、玉川上水を発展させた川崎平右衛門の苦心や努力の意味を理解し、これからの玉川上水の在り方について考えようとする子供の育成を目指す。

## 5 教材について

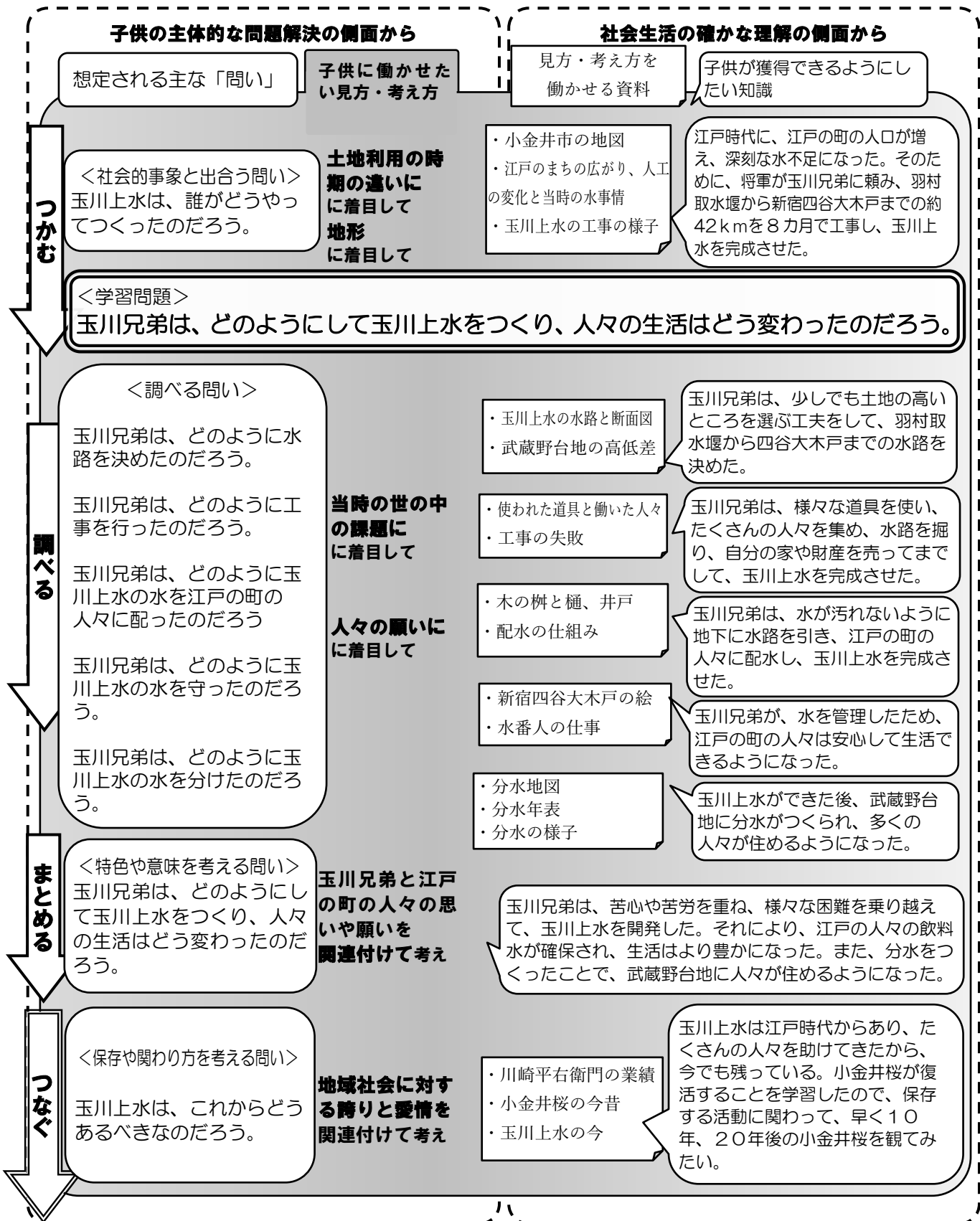
教材として取り上げる玉川兄弟は、江戸幕府の命により、玉川上水の治水工事の中心を担ったとされる人物である。玉川上水は、優れた測量技術に基づく長大な土木構造物で、江戸時代の水の供給施設として、また、武蔵野台地の灌漑用水として貴重な土木遺跡である。その玉川上水を玉川兄弟は、約43kmという距離をたった8カ月間で作ったとされている。このことから、様々な苦心や努力を重ね、玉川上水を完成させた玉川兄弟を取り上げ、その働きや願いを調べ、当時の江戸の人々の生活の向上に貢献したことを理解できるようにする。

さらに、本実践では、川崎平右衛門を教材化する。「つなぐ」段階で、武蔵野台地の新田開発に貢献した川崎平右衛門の業績を取り上げる。玉川兄弟だけでなく、玉川上水を活用し発展させた川崎平右衛門を取り上げることで、先人の働きの意味をより深く捉え、史跡として今に残る玉川上水の在り方について、子供たちが考えられるようにする。

## 6 小単元の構想

学習経験

前小単元では、年中行事である「くらやみ祭り」について調べてきた。「始まり」からは、現在に至るまでの経過に目を向けるようになり、「人々の思いや願い」からは、保存や継承のための取組や、地域の人々が受け継いできた意味について考えるようになった。本小単元では、これまで培われてきた見方・考え方を生かして、「先人の働き」や「地域の発展」を考えていきたい。



## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

#### ○問題意識を高める工夫

約20kmの距離を32年かけてつくられた神田上水と、約43kmの距離を8カ月で作り上げた玉川上水を比較することで、玉川上水をどのように完成させたのかという問題意識を高める。また、過去や現在の玉川上水の様子から玉川上水の未来について考える問いを設定し、地域の発展に目を向けることができるようにする。

#### ○見通しをもつ工夫

学習問題に対する予想から、玉川上水完成後の地図を活用し、玉川上水の水路、使われた道具、江戸の町の配水の様子、武蔵野台地への分水の様子など着目する点を整理し、学習計画を立てることで、学習の見通しをもつことができるようにする。

#### ○内容や方法を選択できる工夫

動画から情報を集めたり、資料を整理したりするなど、調べ方を子供が選択できるようにする。また、個人やグループなどの学習活動も、子供が選択できるようにする。

#### ○協働的に取り組む工夫

調べたことについてグループで共有する場を設け、自分なりの答えを考えたり、情報の妥当性を確認し自信をもたせたりして学習を進める。

#### ○学びを振り返る工夫

毎時間、自分の学習や次時の学習の見通しなどについて振り返る時間を設定し、学びをつなげていく。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ○位置や空間的な広がりから見る

羽村取水堰から新宿四谷大木戸までの距離や、江戸の町への配水、武蔵野台地への分水の様子について着目できるよう、地図や絵資料などを活用し、玉川上水の治水工事について調べる活動を行う。

#### ○事象や人々の相互関係から見る

玉川上水の治水工事時の様々な人々の協力に着目できるよう、玉川上水の治水工事の様子、江戸の町への配水の様子について調べる活動を行う。また、玉川兄弟の苦心や努力に着目できるよう、調べたことを図に整理して事象の相互関係を可視化できるようにする。

#### ○時期や時間の経過から見る

江戸時代から現在まで玉川上水が保存・活用されてきたことに着目できるよう、玉川上水は現在も必要なのかという問いを設定し、話し合う活動を行う。

#### ○比較・関連・総合して考える

玉川兄弟がどのようにして玉川上水をつくり上げたかの問いから、毎時間、調べたことを整理した図を活用し、玉川兄弟の苦心や努力について考える話し合い活動を行う。さらに、この話し合い活動で考えた玉川兄弟の苦心や努力を図に書き足し、グループで話し合った内容を可視化する。

### (3) 子供の学びを確かにする評価

#### ○自分の方法に合った調べ学習

「調べる」段階では、毎時間学習内容や学習方法を確認し、「図解化する」「つまりでまとめる」など、学習方法を子供一人一人が選択し、学習を進める。このような学習形態を取ることで、それぞれの子供が選択した学習方法が学習内容の定着に適していたかを見取っていく。また、子供自身が自分の学習を改善できるように、グループで学習内容とともに学習活動も共有し、振り返ることができるようにする。

#### ○次の学びに繋がる振り返り

「ふりかえりの問い」を活用し、毎時間振り返りを行う。振り返りでは、問いの項目を各時間の学習内容に合わせて、教師と子供が選択する。また、「感じたこと」の項目を活用し、子供自身が自分の感情の変化を読み取り、次時について考えられるようにする。このような振り返り活動を行うことで、子供は自らの学びを自覚し、つなげていくことができると考える。

(4) 本実践の特色ある教材

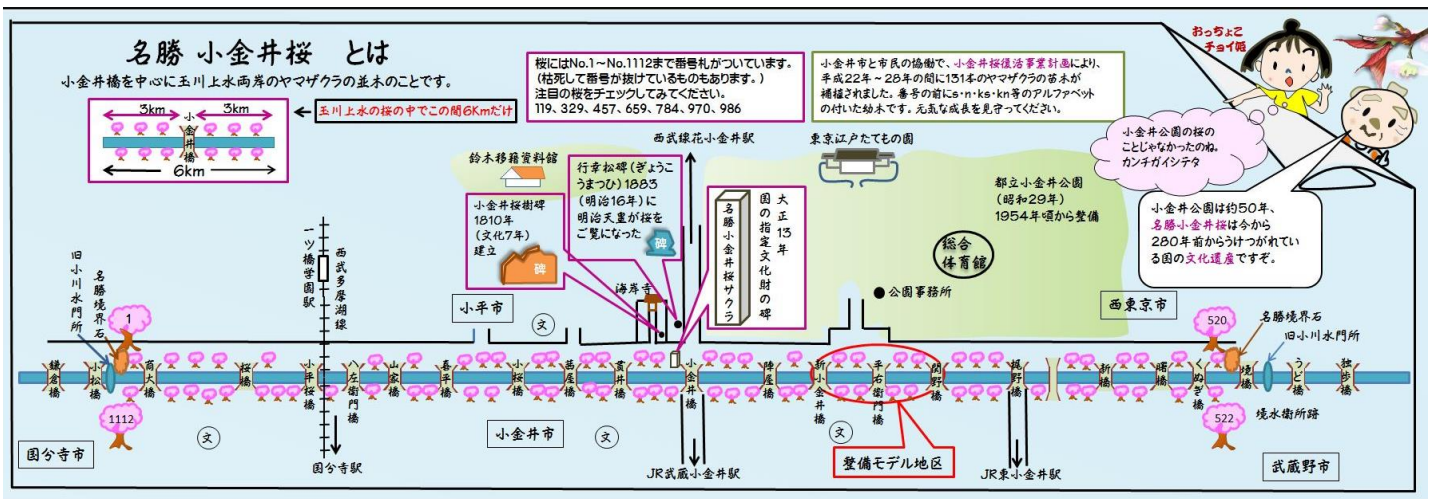
<名勝小金井桜>

玉川上水をつくり、発展させた  
人々が見えてくる。

武蔵野台地新田開発の歴史を  
今に伝える。

地域の未来を  
考えられる。

まさに、  
先人の働き。



## 8 小単元の指導計画（全12時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	身近な河川から、玉川上水に対して関心を持ち、当時の江戸の町の人々の生活について考える。①	<p>○小金井市に流れている玉川上水と野川の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井公園の近くの川。</li> <li>・武蔵野公園にある川。</li> <li>・玉川上水は自然にできた川ではなさそう。</li> </ul> <p>◆玉川上水は、どのような川なのだろう。</p> <p>○玉川上水の資料を読み取り、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人によってつくられた川。</li> <li>・江戸時代につくられた。</li> <li>・江戸時代に人口が増えたから。</li> <li>・江戸のまちの水不足が深刻になったから。</li> </ul> <p>◆江戸のまちに住む人々は、どのような気持ちだったのだろう。</p> <p>○当時の江戸のまちの人々の気持ちを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一刻も早く水がほしい。</li> <li>・水がないと生活ができない。</li> </ul> <p>●振り返りを書き、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水は、江戸の町の人々に水を届けるためにつくられた。</li> <li>・江戸の町の人口が増え過ぎて水不足になった。</li> </ul>	<p>◎小金井桜</p> <p>◎玉川上水と野川の写真</p> <p>◎地図帳</p> <p>□玉川上水と野川を比較し、違いを捉え、玉川上水が人工的な川であることを捉えさせる。</p> <p>□江戸時代に玉川上水がつくられた理由に着目させる。</p> <p>◎江戸の水道事情、江戸の町の広がりと人口</p> <p>□江戸時代、江戸のまちに住む人々が、水に困っていたことを捉えさせる。</p> <p>【思判表①】発言やノートなどの記述から「江戸時代、江戸のまちの人口が増え、当時の江戸のまちの人々が水不足になり、困っていたことについて考え、表現しているか」を評価する。</p>
	玉川兄弟らが、短期間で玉川上水を完成させたことを捉え、玉川上水の開発について追究する学習問題をつくり、学習計画を立てる。②	<p>◆玉川上水は、誰がどうやってつくったのだろう。</p> <p>○玉川上水の長さ、工事期間、誰がつくったのかを読み取り、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように工事したのだろう。</li> <li>・約43kmを8か月で何を使って掘ったのか。</li> <li>・どうして、羽村市から四谷までにしたのか。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>玉川兄弟は、どのようにして玉川上水をつくり、人々の生活はどう変わったのだろう。</b></p> </div> <p>◆何を調べれば、学習問題を解決できるのだろう。</p> <p>●予想を話し合い、何を調べたらよいか考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地が高いところを選んで水路を決めた。</li> <li>・道具を使って水が流れる道をつくった。</li> <li>・江戸のまちの分配の仕方を工夫した。</li> <li>・玉川上水が通っている村にも水を分けた。</li> </ul> <p><b>学習計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①流路の決定の仕方</li> <li>②工事の方法</li> <li>③江戸に水を配る工夫</li> <li>④玉川上水の水の分け方</li> </ol> <p>○学習の見通しを考え、振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように工事を進めたのか気になった。早く調べ始めたい。</li> </ul>	<p>◎神田上水と玉川上水</p> <p>□水路が、羽村取水堰から四谷大木戸までの約43kmを8か月で完成したことを押さえる。</p> <p>□工事の仕方や水の通し方についての問題意識をもたせる。</p> <p>◎江戸時代の分水</p> <p>□補助資料を用意し、学習の見通しをもたせる。</p> <p>【思判表①】発言やノートなどの記述から「開削工事が進む様子、分水によって新田開発が広まっていく様子に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】ノートなどの記述から「玉川上水の開発について、既習事項と関連付けて予想したり、学習計画を立てたりしているか」を評価する。</p>

調 べ る	<p>玉川兄弟は、様々な困難を乗り越え、水路を完成させたことを理解する。③</p>	<p>◆玉川兄弟は、どのように水路を決めたのだろう。</p> <p>○資料を使って調べ、事実を整理する。</p> <p>○整理した事実をグループや学級内で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しでも土地の高いところを選んだ。</li> <li>・測量して、土地の高さを測っていた。</li> <li>・十分な水量が確保できるから多摩川を選んだ。</li> </ul> <p>○調べたことを図に整理する。</p> <p>キーワード・高低差　・水の性質　・失敗</p> <p>●次時以降の学習計画を確認し、振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟は、様々な困難を乗り越え、羽村取水堰から四谷大木戸までの水路を完成させた。</li> </ul>	<p>◎玉川上水の水路と断面図</p> <p>◎NHK for school</p> <p>◎2度の失敗</p> <p>□学習の進め方を確認し、主体的に調べ学習を進めさせる。</p> <p>□等高線の読み取り方を確認し、土地の高低差が少ないことを捉えさせる。</p> <p>□図に整理し、学習内容の共通点を見出させる。</p> <p>【知技①】発言やノートの記事から「必要な情報を集め、読み取り、玉川上水の水路が少ない高低差の中で、できるだけ高い土地を選んで決められたことを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>玉川兄弟は、私財を投げ売り、もっこや鍬などの道具を使って、玉川上水を完成させたことを理解する。④</p>	<p>◆玉川兄弟は、どのように工事を行ったのだろう。</p> <p>○資料を使って調べ、事実を整理する。</p> <p>○整理した事実をグループや学級内で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くわやじょれん、もっこなどを使って工事していた。</li> <li>・たくさんの人々が集められ、分担して水路を掘った。</li> <li>・玉川兄弟は、自分たちの家や財産を売って工事の費用にあてた。</li> </ul> <p>◆どうして、私財を売ってまでして玉川上水を完成させようとしたのだろう。</p> <p>●グループで対話し、学級内で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸の人々に水を届けたかったから。</li> <li>・人々の役に立ちたいと思っていたから。</li> </ul> <p>○調べたことを図に整理する。</p> <p>キーワード・もっこ　・じょれん　・私財の売却</p> <p>●次時以降の学習計画を確認し、振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟は、くわやじょれんなどの道具を使ってたくさんの人々を集め、水路を掘り、自分の家や財産を売って工事のお金をつくっていた。</li> </ul>	<p>◎工事の様子絵</p> <p>◎NHK for school</p> <p>◎玉川上水の苦労・努力道具</p> <p>□学習の進め方を確認し、主体的に調べ学習を進めさせる。</p> <p>□玉川兄弟の苦心や努力を捉えさせる。</p> <p>□グループで対話させる。</p> <p>□図に整理し、学習内容の共通点を見出させる。</p> <p>【知技②】発言やノートなどの記事から「必要な情報を集め、読み取り、工事の様子や工事に使っていた道具、玉川兄弟の苦心や努力について理解しているか」を評価する。</p>



<p>玉川兄弟は、江戸の町に水を通すために、石樋や木樋などによる配水の工夫をして給水したことを理解する。 ⑤</p>	<p>◆玉川兄弟は、どのように玉川上水の水を江戸の町の人々に配ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を使って調べ、事実を整理する。</li> <li>○整理した事実をグループや学級内で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下を「石樋」や「木樋」を使って水を配った。</li> <li>・「ます」を使って方向を変えたりさらに分けたりしていた。</li> <li>・水を汚さないように地下に水路をつくった。</li> </ul> </li> <li>○調べたことを図に整理する。</li> </ul> <p>キーワード・木樋 ・石樋 ・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次時以降の学習計画を確認し、振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟は、江戸のまちに水を通すために、地下に「石樋」や「木樋」をつくり、水が汚れないように江戸の人々に水を配って、無事玉川上水を完成させ、江戸のまちの人々に水を送り届けることができた。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎木樋や石樋、上水井戸の写真と絵</li> <li>◎江戸のまちへの配水</li> <li>□木樋や石樋が、きれいな水を江戸中に配水する工夫であることを捉えさせる。</li> <li>□図に整理し、学習内容の共通点を見出させる。</li> <li>【知技①】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、江戸の町にきれいな水を配水する工夫を理解しているか」を評価する。</li> </ul>
<p>玉川兄弟は、水番人に水の管理を任せ、きれいな水が飲めるようにしていたことを理解する。 ⑥</p>	<p>◆玉川兄弟は、どのように玉川上水の水を守ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を使って調べ、事実を整理する。</li> <li>○整理した事実をグループや学級内で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水番小屋」をつくり、そこで水番人が見張りをしている。</li> <li>・「芥留」を作り、ごみなどが地下水路に流れ込まないようにした。</li> </ul> </li> </ul> <p>◆玉川上水ができて、江戸の町の人々の生活は、どのように変わったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループで対話し、学級内で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川上水ができて、水が使えるようになって暮らしやすくなった。</li> <li>・玉川上水ができたことで、安心して生活を送ることができるようになった。</li> </ul> </li> <li>○調べたことを図に整理する。</li> </ul> <p>キーワード・水番人 ・芥留 ・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次時以降の学習計画を確認し、振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉川兄弟が江戸の町に送られた玉川上水の水を管理することで、江戸の町の人々は安心して生活することができるようになった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎江戸時代の四谷大木戸の絵</li> <li>□絵に登場している人に着目させ、人によって管理されていたことを捉えられるようにする。</li> <li>□江戸の町の人々の生活が向上したことを捉えられるようにする。</li> <li>□図に整理し、学習内容の共通点を見出させる。</li> <li>【知技②】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、玉川兄弟らの様々な苦心や努力が、当時の江戸の町に住む人々の生活の向上に貢献したことを理解しているか」を評価する。</li> </ul>
<p>玉川兄弟は、武蔵野台地に多くの分水をつくったことを理解する。 ⑦</p>	<p>◆玉川兄弟は、どのように玉川上水の水を分けたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を使って調べ、事実を整理する。</li> <li>○整理した事実をグループや学級内で共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野台地に住む人々が、幕府に願い出て分水を掘った。</li> <li>・玉川上水ができた次の年には、野火止用水がつけられた。</li> </ul> </li> </ul> <p>◆玉川上水の分水ができ、武蔵野台地はどのように変わったのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎江戸時代の分水の広がり の地図</li> <li>◎分水年表</li> <li>□玉川上水ができたことによって、時間の経過とともに分水が広がっていったことに着目させ、武蔵野台地に住む人々の生活の変化について考えられるようにする。</li> <li>□荒地だった武蔵野台地の変化を</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループで対話し、学級内で共有する。</li> <li>・農業が盛んになった。</li> <li>・住む人が増えた。</li> </ul> <p>○調べたことを図に整理する。</p> <p><b>キーワード</b>・武蔵野台地 ・新田開発 ・分水願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●次時以降の学習計画を確認し、振り返りを書く。</li> <li>・玉川上水ができた後、分水がつくられ、武蔵野台地に水が送られるようになったことで、農業ができるようになり、多くの人々が住める村になっていった。</li> </ul>	<p>つかませる。</p> <p>□図に整理し、学習内容の共通点を見出させる。</p> <p><b>【知技②】</b> 発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、玉川兄弟らの様々な苦心や努力が、当時の武蔵野台地に住む人々の生活の向上に貢献したことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>まとめ</p>	<p>学習したことを整理し、学習問題に対する自分の考えをまとめる。⑧</p>	<p>◆調べたことから、どのようなことが分かるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ノートから、玉川兄弟がどのようにして玉川上水をつくり上げたかについて話し合う。</li> <li>・様々な困難を乗り越えてつくり上げた。</li> <li>・江戸の人々に水を届けたいという強い思いをもってつくり上げた。</li> <li>●学習問題に対して分かったことや考えたことを表現する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>玉川兄弟は苦心や苦労を重ね、様々な困難を乗り越えて、玉川上水を開発し、江戸の人々の飲料水が確保され、生活はより豊かになった。また、分水をつくったこと</p> </div>	<p>◎調べる段階で作成した図</p> <p>□玉川上水の治水工事の様子を相互に関連付けて関係図に整理し、学習問題の解決につなげる。</p> <p><b>【思判表②】</b> 関連図の内容から「学習したことを基に、玉川兄弟らの働きや願いを考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p><b>【知技②】</b> ノートやワークシートなどの記述から「図に整理し、玉川兄弟らは、様々な苦心や努力により当時の江戸の町や武蔵野台地に住む人々の生活の向上に貢献したことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>つなぐ</p>	<p>小金井桜の様子を調べ、川崎平右衛門の業績について関心をもつ。⑨</p>	<p>○小金井桜の過去の様子を読み取り、川崎平右衛門の業績について調べたいことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎平右衛門はどんなことをしたのか。</li> <li>・川崎平右衛門はどうして小金井桜を植えたのか。</li> </ul> <p>◆川崎平右衛門は、どうして小金井桜を植えたのだろう。</p> <p>○資料を使って調べ、事実を整理する。</p> <p>○整理した事実をグループや学級内で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●資料を集め、ノートに分かったことを整理する。</li> </ul>	<p>◎昔の小金井桜の浮世絵</p> <p>◎小金井桜（第1時と同様）</p> <p>□小金井桜が植えられた理由から、川崎平右衛門の業績に関心をもたせる。</p> <p>□図解化や箇条書きなど、児童に学習方法を選択させ、調べ学習を進め、問いについて追究できるようにする。</p> <p><b>【知技①】</b> 発言やノートの記述から「必要な情報を集め、資料を読み取り、分水願いを出したり、栗林を増やしたりした川崎平右衛門の業績について理解しているか」を評価する。</p>

<p>川崎平右衛門が、農民のために様々な工夫をして、武蔵野台地の新田開発を行ったことを理解する。⑩</p>	<p>●ノートから、川崎平右衛門が小金井桜を植えた理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎平右衛門は様々な困難を乗り越えたり、アイデアを出したりして、農民を救った。</li> <li>・川崎平右衛門は、武蔵野台地の新田開発の活性化のために小金井桜を植えた。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>川崎平右衛門は、小金井市や小平市などの武蔵野台地で新田を開発し、小金井桜を植えてこの地域を豊饒させた</p> </div>	<p>□前時に川崎平右衛門の業績について調べたことを基に、その意味について考えさせる。</p> <p>【知技②】 発言やノートの記述から「必要な情報を集め、資料を読み取り、川崎平右衛門は様々な苦心や努力により、当時の武蔵野台地に住む人々の生活の向上に貢献したことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>小金井桜や玉川上水の現状について調べ、保全の取組やこれからの小金井桜について考える。⑪</p>	<p>◆誰が小金井桜を守っているのだろう。</p> <p>○資料を使って調べ、事実を整理する。</p> <p>○整理した事実をグループや学級内で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小金井桜は江戸時代から観光名所となっていた。</li> <li>・大正時代に国から認められて名勝に指定された。</li> <li>・昭和には、上水路の役割を終えて、水が止まった。</li> <li>・小金井市が玉川上水や小金井桜を整備し始めた。</li> <li>・玉川上水は、国の史跡になっている。</li> <li>・今はまだ子供の桜だけど、10年、20年後には満開の桜が見られるようになる。</li> <li>・これから100年先のことを考えて取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎昔の小金井桜の浮世絵</li> <li>◎小金井桜（第1時と同様）</li> <li>◎荒廃した小金井桜</li> <li>◎インタビュー映像</li> </ul> <p>□図解化や箇条書きなど、児童に学習方法を選択させ、ノートにメモを取らせる。</p> <p>【態度②】 発言やノートの記述から「小金井桜の役割について、考えをまとめようとしているか」を評価する。</p>
<p>小金井桜や玉川上水の現状を基に、玉川上水の役割や保存について話し合い、玉川上水の未来を考える。⑫</p>	<p>◆10年、20年後の小金井桜や玉川上水は、どのようになっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名勝小金井桜が復活するから、これからも玉川上水は残っていくと思う。</li> <li>・小金井桜を中心に観光地になり、多くの人が訪れる場所になる。</li> <li>・小金井桜が有名になることで、玉川兄弟や川崎平右衛門のしてきたことを伝える川になる。</li> </ul> <p>○学習を振り返り、これからの玉川上水について自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>玉川上水は、江戸時代からあり、たくさんの人々を助けてきたから、今でも残っていると考えた。小金井桜が復活することを学習したので、小金井桜を保存する活動に関わって、早く10年、20年後の小金井桜を観てみたい。</p> </div>	<p>◎前時までのノート</p> <p>□小金井桜から玉川上水全体に視野を広げ、これからの玉川上水について考えられるようにする。</p> <p>【態度②】 発言やノートの記述から「これからの玉川上水の姿について、考えをまとめようとしているか」を評価する。</p>

9 本時の学習 (12/12時)

(1) 本時のねらい

小金井桜や玉川上水の現状を基に、玉川上水の役割や保存について話し合い、玉川上水の未来を考える。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	○前時までの学習を振り返り、問いを確認する。 ・小金井桜は江戸時代から観光名所となっていた。 ・玉川上水は、国の史跡になっている。 ・今はまだ子供の桜だけど、10年、20年後には満開の桜が見られるようになる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">玉川上水の未来について考えよう。</div>	◎ノート □前時を振り返ることで、小金井桜を中心に玉川上水の未来に目を向けさせる。 □グループで対話させ、学級内で共有する。
しらべる	○問いについて話し合う。 ◆10年、20年後の小金井桜や玉川上水は、どのようになっていくのだろう。 ・今以上に小金井桜が満開になって、観光客がたくさん来て、昔のような観光名所に戻る。 ・川崎平右衛門が考えていた賑わいが戻る。 ・小金井桜が復活すれば、他の場所も整備されて、玉川上水の環境がより良くなる。 ・名勝小金井桜が復活するから、これからも玉川上水は残っていくと思う。 ・小金井桜を中心に観光地になり、多くの人を訪れる場所になる。 ・小金井桜が有名になることで、玉川兄弟や川崎平右衛門が行ってきたことを伝える川になる。	◎小金井桜の動画 □グループで対話させ、学級内で共有する。 □必要があれば、ホワイトボードに話し合った内容をメモし、整理させる。 □グループの意見は1つにまとめず、多様な意見を出させることを確認する。 □小金井桜から玉川上水に視野を広げ、これからの玉川上水について考えられるようにする。
まとめる	○これからの玉川上水について、自分たちの生活や先人の働きを基に考え、ノートに自分の考えをまとめる <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto;">玉川上水は、江戸時代からあり、たくさんの人々を助けてきたから、今でも残っている。小金井桜が復活することを学習したので、保存する活動に関わって、早く10年、20年後の満開の小金井桜を観てみたい。</div>	□本時の学習内容や今まで学習してきたことを振り返り、玉川上水の未来について、自分なりの言葉で表現できるようにする。 【態度②】発言やノートなどの記述から「学習してきたことを基に、これからの玉川上水の姿について、考えをまとめようとしているか」を評価する。

(3) 本時の板書計画

玉川上水の未来について考えよう。

問い：10年後、20年後の小金井桜や玉川上水は、どのようになっていくのだろう。

小金井桜についての意見を整理する

玉川上水についての意見を整理する